

関係各位

教科用図書の採択について（報告）

埼玉大学教育学部附属中学校

教科用図書の採択結果とその理由について、御報告いたします。

教科 採択教科書	採択の理由（内容、資料、標記・表現等）
国語 光村図書	各単元の手引きのページでは、学習の筋道が実際の作品などとともに示されているため、生徒が主体的に学習を進める手助けとなる。一層の充実が求められている「語彙」や「情報」に関する資料も充実しており、生徒が自ら学習の中で活用していく様子が想像できる。古典教材にはQRコードがあり、そこから音読の動画が視聴できる。生徒が機器を使って、つまづきやすい古典の仮名遣いなどを家庭でも確認できる。これらの理由から、本校で採択する。
書写 光村図書	活動の目標が明らかになり、その到達に向けて三つのステップに分けて単元を展開している。また、「生かそう」というページでは毛筆で学習したことを硬筆で生かすことのできる視点も多く、日常から整った字を書こうとする態度を養える。手本となる字も他社と比較して美しい。これらの理由から、採択する。
社会（地理） 帝国書院	知識及び技能を育成するための工夫として、各節の最後に重要語句の確認だけでなく、資料を読み取りまとめるものもあり、知識及び技能の確認が行える。また、地域の在り方の単元にむけて、日本の諸地域の学習において持続可能な社会づくりのための方策が示されている。このように、各大単元の内容構成がそれぞれに関連しており、生徒が学習していく上で活用しやすいと考え採択をする。
社会（歴史） 東京書籍	課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫として、探究のステップが単元ごとに記載され各時代の特色を理解しやすくなっている。資料を最新のものに差し替えていることから、資料を活用した授業展開を考えることができる。多様な思考ツールが紹介され、まとめ活動の工夫がなされていることから、生徒が学習していく上で活用しやすいと考え採択をする。
社会（公民） 東京書籍	探究のステップという特設ページで単元を振り返ることができることとあわせて、活動を通して段階的に学習内容を振り返ることができる。概念を学ぶ機会が増える公民的分野の学習の流れに適しており、多面的・多角的に考察しやすい資料となっている。これらの教科書の構成とバランスの良い記述が、生徒が学習していく上で活用しやすいと考え採択をする。
地図 帝国書院	改訂により判が大きく、資料もそれに伴って拡大され、見やすい作りとなっている。また、歴史分野の学習を意識したページが新しく加わり、分野間の連携・活用をはかりやすくなった。さらに、資料の色合いが視覚的に捉えやすくなっている。以上のことから、本校社会科が行っている授業での活用にも最も適すると考え採択をする。
数学 東京書籍	単元の導入場面では、学校生活から問いを見出すなど、単元を通しての学習や単元内での学習についても工夫が随所に見られる。各授業における問いや問題場面でも生徒の思考・判断する機会が多く設定されており、本教科書を採用することで生徒の資質・能力が最も向上されると判断した。以上のことから、本校で採択する。
理科 東京書籍	単元の前後にある問いにより、生徒自身が単元の学びの見通しや振り返りを行いやすくする工夫がなされている。さらに、単元の当初に身近な事象の観察を基に問題を見いだす場面があり、生徒の主体的な学びを支える工夫がみられる。以上より、本校理科部が行う授業の進め方に合っており活用しやすいと考えられることから、本誌を採択する。
音楽 教 芸	表現、創作、鑑賞のそれぞれの分野のバランスと教材選択という点で、他の教科書に比べ優れている。視覚的にも生徒の思考を深め、興味・関心を高める工夫がされている。創作分野では生徒のイメージを引き出しやすく、指導の手立ても分かりやすい。以上の理由より、本校音楽科が行う授業でも活用しやすいことから、本誌を採択する。
器楽 教 芸	奏法についての具体的な記述があり、取得技能に合わせた練習曲や音楽の教科書と関連付けがされている。音楽の教科書と器楽の教科書を併用することで、より生徒の思考の深まりが期待できる。写真が大きく詳細部分

	まで確認できるため視覚的にもわかりやすい。その楽器に関わる他の楽器との関連についても詳しく述べられている。以上の理由より本誌を採択する。
美術 日 文	校種間での連携を意識し、美術 1 では入口に小中連携のページを設けており、美術 2・3 下では将来の生活と美術とのかかわりは続いていくことを示唆するページを設けている。各ページに掲載する図版を大きく取り上げると同時に明快で、指導者・生徒の両者にとって学習のねらいが分かりやすい。全体的にわくわくするような紙面になっており、生徒の興味を誘いやすい。以上の理由により、本教科書を採択する。
保健体育 学 研	各項目ごとに「目標」「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」が提示されており、学習の流れがわかりやすく、課題解決的な学習を展開しやすい内容、資料構成である。また、「探究しようよ」など学習した内容を発展的に考えるものもあり、より深く学べる内容になっている。「関連」では保健体育の内容だけでなく他教科との関連も示されており、他の学びを生かせる内容である。以上より、本校保健体育科が行う授業の進め方に合っており活用しやすいと考えられることから、本誌を採択する。
技術 開 隆 堂	導入部分において、社会で活躍している具体的な製品やシステム等を取り上げ、技術の見方・考え方に気付かせている。まとめのページにおいて、これまでの学びを振り返り、技術の見方・考え方を豊かに働かせ、技術の役割やこれからの活用について考えることができるような工夫がされている。科学的な原理や仕組みをおさえた解説や実験を配置し、理解が深まるよう工夫されている。実習例のページでは、問題解決の流れが分かりやすく示されており、実習の際に参考にしやすい。よって、本誌を採用する。
家庭 開 隆 堂	内容のまとまりが意識されたつくりになっており、見通しをもたせる工夫がされている。具体的には、内容のまとまりの導入のページに「わたしの興味・関心」を記入できる欄があり、生徒の興味・関心から始まる学習展開ができる。生徒自らの考えを広げて深められるようなコーナーがある。動画コンテンツが充実しており、理解が難しい幼児の心身の発達や、栄養素に関する実験動画がある。基礎縫い動画については左利きの生徒にも対応し、学習効果を高める資料の工夫がされている。よって、本誌を採用する。
英語 開 隆 堂	学習の系統性を考慮し、段階的に習得・活用を繰り返すなど効果的に言語を習得させる工夫が見られる。基礎的な活動から発展的な活動へとわかりやすく導く構成でありながら、各校の実態に合わせた複数の教科書活用方法が提案されており、指導計画の工夫に大きく貢献している。取り上げられている題材、5 領域を総合的に活用すると自己表現活動の設定の観点から、本校生徒の実態に即し、最も適していると考え、本誌を採択する。
道徳 東京書籍	教材の冒頭に考えるポイントを示し、末尾にはともに考え、話し合えるような設問を示すなど、考え議論することを通して、道徳的価値の理解を深められるような学習活動を掲載している。「つぶやき」や心情円、ホワイトボード用紙、印象的な写真・イラスト構成、役割演技などの手立てが豊富であり、議論を活発化させる工夫がある。よって、本校で採択する。